

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	環境産業部
	04060-1	生物多様性保全事業	室名	森林林業室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	04:自然との共生	務	款 衛生費
	施策の方向	01:自然資源の保全と多様な生態系の確保	科	項 保健衛生費
	戦略プロジェクト		目	目 環境衛生費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	生物多様性基本法第5条の「生物多様性の保全及び持続的可能な利用」に関し地方自治体が施策を推進していく責務に則り、市内における生物多様性の保全に向けた取り組み、及び市民における生物多様性の保全の意識を向上させる。

			24年度	25年度	26年度		
③ 指標	① 活動	名称	研修	計画値			
		補足	環境省主催 野生生物・自然環境研修	実績値	1	0	0
		単位		人	人	人	
	② 活動	名称	外来種駆除活動支援	計画値			
		補足	石灰支給	実績値	1	1	1
		単位		回	回	回	
① 成果	名称		計画値				
	補足		実績値				
	単位						

年度計画				年度実績					
				外来種駆除活動を支援(石灰支給):水辺づくりの会 鈴鹿川のう					
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	740	平均給与額×③	
		事業費		40	17	人件費	一般職員人件費 ②		740
		国庫支出金					所要人員 ③		0.10
		県支出金					臨時職員人件費 ④		
		地方債					受益者負担額 ⑤		受益者負担率 0.0% ⑤ / ⑥
		その他							
		一般財源		40	17				
		再	翌年度への繰越額						
		掲	前年度からの繰越額						
			総人件費		①	740			
	総コスト		⑥	757					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	市内のため池に生息する外来魚(ブラックバス、ブルーギル)を駆除するグループの協力を得て、在来種の生態等の保全に努めた。また、特定外来種(アライグマ、ヌートリア)について、環境省の許可を得て、市民に捕獲檻の貸し出しを行い、16頭を捕獲し在来種の保全に努めた。 鈴鹿国定公園での生態系維持回復に取り組むため、鈴鹿生態系維持回復協議会(滋賀県、三重県、いなべ市、菰野町、四日市市、鈴鹿市、伊賀市、亀山市)が組織され、平成27年3月に「鈴鹿国定公園鈴鹿生態系維持回復事業計画」を策定した。	総合判定 C あまり進まなかった
	【反省点・課題】	この事業にあつては、外来種の駆除等に留まり、この活動が在来種の保護になり、生物多様性への関心の底上げに繋がっていく仕組みづくりになっていない。	
	【改善の方向性】	在来植物及び外来植物に関する調査研究、外来植物の防除、普及啓発の推進を市内の自然保護団体と連携して取り組む仕組みづくりを検討していく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 森林林業室長 村田 博